



磐田市立豊田中学校 保健室
平成30年8月29日

平成30年度 学校保健委員会兼薬学講座報告

～PTA役員、PTA厚生研修委員、学級PTA委員等の皆様参加ありがとうございました！～

7月11日(水)に学校保健委員会兼薬学講座を開催しました。1年生は学校薬剤師から薬の話、2、3年生は磐田警察署のスクールサポーターから覚醒剤の話とDVDを鑑賞しました。

◆◆◆ 学校薬剤師 竹内雅子先生より ◆◆◆

学校薬剤師の仕事や、薬使い方や扱い方についてわかりやすく教えて頂きました。

感想

私はよく目薬を使うので、まつげについてはいけないというのを聞いてびっくりしました。用量が決まっているので気を付けたいです。

しっかりとした飲み方や使い方をしないと意味がなく、逆に悪くなってしまうこともあるので、箱に書いてある事や医者に言われたことをしっかり守りたい。



薬がどんどん進化して、重い病気の人をたくさん救ってくれるといいと思った。

◆◆◆ 磐田警察署 スクールサポーター 土井さんより ◆◆◆

薬物を使用した時の体の症状や、その後使い続けたくなるような常習性があり、幻覚なども見える場合があることをDVDのドラマから学びました。また、たばこの上手な断り方の実践を学級代表の生徒と先生がロールプレイングを行い、どんな断り方があるのかを考えました。

感想

誘われても絶対に断って、薬物に手を出さない。

薬物についての理解が浅いことに気付いたので、もっと危険さや罪の重さを理解したいと思った。また、傷つくのは個人だけでなく家族、友達など、周りにも迷惑がかかることを常に考えておかないと思った。



もし一緒にやろうなどと言われたら、しっかり断ることができるようにしておきたいです。

- ・「一回だけ」から始まった事が、これほど人生を狂わせてしまう。自分だけではなく、家庭全ての人の人生をダメにする。とても怖いものだと思えて感じました。子ども達には、薬を写真で見せて頂いたのは知っていてとても良いのではないかと思います。
- ・受験勉強から覚醒剤に手を出す事(きっかけ)になるとは思っても見なかったので驚きました。
- ・とても怖いDVDでした。はっきり断る意思と共に、怪しいものを怪しいと感じられる知識も必要だと感じました。

保護者より

◆◆◆ 困ったことがあったら、相談できる場所を知っておこう ◆◆◆

磐田地区少年サポートセンター 0120-783-410

磐田警察署 37-0110

学校カウンセラー(要予約) 9月6日(木)2学期カウンセリング開始

(曜日や時間について。また予約希望の場合は、学校または担任に連絡をお願いします。)